

「みよし教育プラン」を家庭・地域・学校で共有し、教育活動を進めています

みよし市教育振興基本
計画【改訂版】は、左記
QRコードより、御覧いた
だけます。



1 みよし教育プランの全体像

みよし教育プランの全体像を図式化すると、次のようになります。
0歳から100歳を超えるまで、全ての市民の学びを全力で応援していきます。

目指す人間像

生涯にわたって自らを磨き続け、
仲間と共に「ふるさとみよし」を築き、
より良い次代を創り出す人

基本
理念

学ぶ楽しさで、人と人をつなぐ

I 次代を担う子どもを みんなで大切に育てる

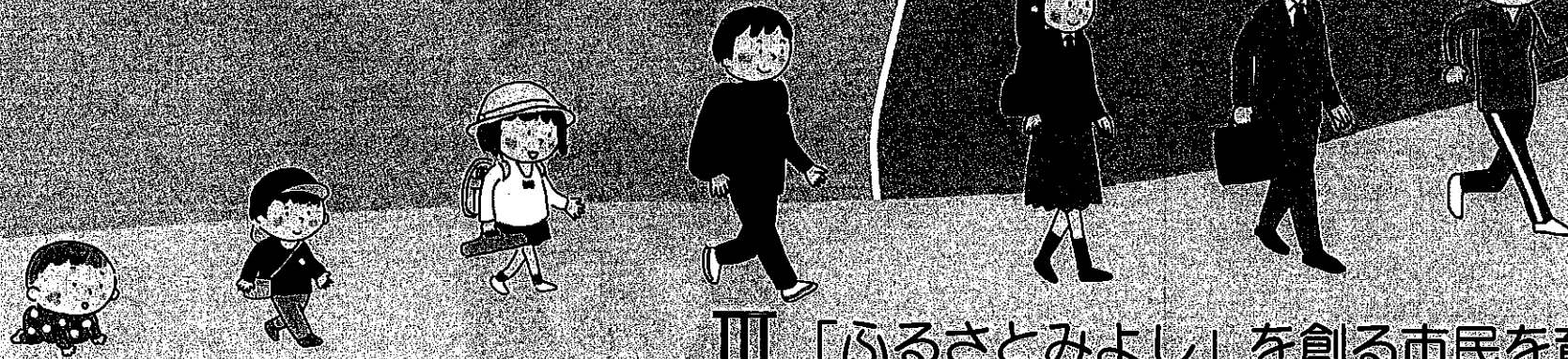
- 子育て世帯を支援する
- 仲間と進んで学ぶ子どもを育てる
- 心豊かな子どもを育てる
- たくましい子どもを育てる
- 個に応じた教育を推進する
- 安心・安全・快適で信頼される学習環境をつくる

II 生涯にわたって 学び続ける市民を応援する

- 生涯学習環境を整える
- 生涯スポーツを推進する
- 文化活動を活性化させる

III 「ふるさとみよし」を創る市民を育てる

- ふるさと学習を推進する
- 人と人との出会いを生み出す



2 みんなで育てるみよしっ子

～共育・協育を通して～

みよし市教育振興基本計画の「目指す人間像」に迫るための手立てである「三本の柱」の一つに、「I次代を担う子どもをみんなで大切に育てる」が掲げてあります。そこで、「次代を担う子どもをみんなで大切に育てる」ために、右のような『次代を担うみよしっ子』育成イメージ図を作成し、家庭・地域・学校それぞれの役割と、大人が子どもたちに対して「こんな働きかけができればいいな」という取組を例として示しました。

大人は誰もが、「心身ともに健やかな子どもに育ててほしい」という願いを持っているはず。その想いをつなぎ合わせ、共に手を携え協力しながら、家庭・地域・学校が織ぐるみで、ふるさとみよしの次代を担うみよしっ子を大切に育てていきたいと思います。

「共育」と「協育」について

共育とは、家庭・地域・学校が手を取り合い、「共に子どもたちを育てる」こと、及び子どもの教育に関わることを通して「子どもたちだけでなく、大人も共に育つ」ことを意味しています。

協育とは、家庭・地域・学校が「協力して教育・共育を担っていく」ことで、子育てを通して相互の連携を深めていくことを意味しています。



【「次代を担うみよしっ子」育成イメージ図】